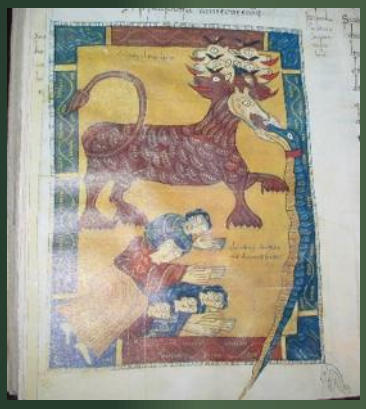
Library Liébana

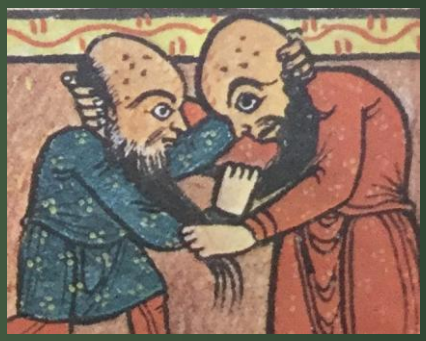
2026年11月度展示内容のお知らせ

【今月の展示写本】

（1）ベアトゥス黙示録写本



（エスコリアル写本）
10世紀後半？

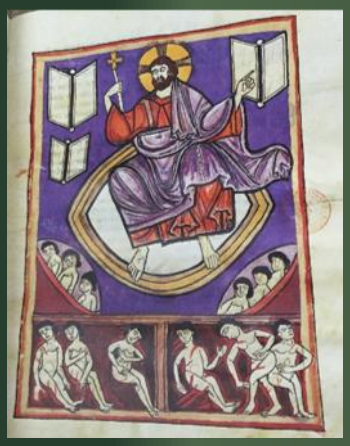


（サン・スヴェール写本）
11世紀中頃



（ウルジェイ写本）
10世紀第4四半期

（2）その他写本



（ナバーラ写本）
12世紀末



（トリニティ黙示録写本）
1230-50年代



（ラットレル詩編）
1325-40年

ファクシミリ本でみるスペイン黙示録の世界
中世彩色写本を紹介

ファクシミリ本とは：
オリジナル写本の大きさや色を再現。
特に羊皮紙の厚みやしわも忠実に
再現した複製本も多数展示しています。

愛知県豊田市西町5丁目5
VITS豊田タウン　B1F
（西町5丁目北交差点の
外側階段を降りて下さい）
10:00～16:00

10月の開館日(予定)　水・木・金・日曜日
（HP、インスタで確認下さい）

2026 年 11 月

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
26 (休み)	27 (休み)	28 10:00 -15:00	29 13:00 -16:00	30 13:00 -16:00	31 (休み)	1 「とよたブックマーケット」参加
2 (休み)	3 10:00 -16:00	4 10:00 -15:00	5 10:00 -16:00	6 (休み)	7 (休み)	8 豊橋ブックストリート参加
9 (休み)	10 (休み)	11 10:00 -15:00	12 13:00 -16:00	13 10:00 -13:00	14 (休み)	15 10:00 -16:00
16 (休み)	17 (休み)	18 10:00 -15:00	19 13:00 -16:00	20 10:00 -16:00	21 「安城ほんまつり」出店	22 知立「本日和3rd」参加
23 (休み)	24 (休み)	25 10:00 -15:00	26 13:00 -16:00	27 13:00 -16:00	28 (休み)	29 10:00 -16:00
30 (休み)	1 (休み)	11月3日(火)開店します	毎週木・木・金・土に開館します。臨時で休業の場合があります。詳しくは、H.Pでご確認をお願いします。 11月1日(日)「とよたブックマーケット」出店 11月8日(日)豊橋「ブックストリート」出店 11月21日(土)「安城本まつり」、22日(日)知立「本日和」出店			

Google Map

H.P.

Instagram

ベアトゥスの黙示録註解書写本について

中世初期のイベリア半島北部アストゥリアス地方のリエバナにある修道院の修道士、ベアトゥス(ベアトBeato ？-798)が776年に「ヨハネの黙示録註解書」を編纂しました。原本は既に存在していませんが、非常に人気を博し、10世紀から12世紀にかけて多くの写本がイベリア半島はもとよりフランスやイタリアなどで制作されました。ほとんどの写本には、彩色された挿絵が多数描かれており、その鮮やかな色使いと想像力豊かなインパクトの強い挿絵が後世にながく影響を与えてきました。

これまでに発見されたベアトゥス写本のうち、挿絵入りのものは29 写本あり、そのうち完本の写本は22写本、断簡の写本が7写本あります。
本ライブラリーには完本22写本のうち20写本のファクシミリ版があります。 ファクシミリ版の中には羊皮紙の厚みやシワ・汚れ・破れ・落書きなどをそのまま再現した精巧なものもあります。

今月の展示写本
（1）ベアトゥス黙示録写本 （①②③④）
（2）その他写本（⑤⑥）

①【ﾍﾞｱﾄｩｽ黙示録註解書：エスコリアル写本】

エスコリアル写本の挿絵は、モーガン写本やジローナ写本と違い、青や赤はあまり使用されず、代わりに黄色や泥がかった茶色・ダークグリーンに塗られ、それはのちのコゴーリャ写本にも受け継がれます。特に人物の顔の描き方に特徴があり、鼻と片方の眉がほぼ直角の直線で描かれ、大きなしずく型の目が特徴です

②【ﾍﾞｱﾄｩｽ黙示録註解書：サン・スヴェール写本】

ベアトゥス写本の中で唯一ピレネー山脈を越えたフランスの修道院で制作された写本。
挿絵は2頁大の挿絵が5点、全頁大が36点あります。モサラベ様式の中にロマネスク様式がまざった挿絵が見られる。
また、他の写本ではノアの箱舟が描かれていますが、この写本はでは大洪水の様子が描かれているのが特異です。(f. 85)

③【ﾍﾞｱﾄｩｽ黙示録註解書：ウルジェイ写本】

10世紀後半にスペイン北部のアストゥリアス東部で作られた。ロマネスク様式のモサラベ風の90の彩色挿絵が描かれています。キリスト論の系譜の序文とダニエル書の解説とともに、黙示録に関するベアトゥスの註解テキストが書かれています。

④【ﾍﾞｱﾄｩｽ黙示録註解書：ナバーラ写本】

12世紀後半にナバーラ地方のラリオハ地方のアストルガで作られたと考えられています。
挿絵の一番の特徴は、なんといっても地に使われている紫色です。
ロマネスク様式を色濃く残しています。

⑤【トリニティ黙示録】

13世紀半ばに英仏で流行した黙示録の中でも特異な位置にある黙示録。
当時の写本としては大判(435×320)の写本で、豪華絢爛に彩色されていることから、高貴な身分の人に献呈されたと考えられる。

⑥【ラットレル詩編】

1325年～1340年にｲｷﾞﾘｽ北部の裕福な土地所有者ラットレル卿によって作成された350×245の大きさで309葉の羊皮紙に描かれた大部の写本。
本文周縁部に中世の生活(農業、狩猟、娯楽、音楽制作)が描かれ、14世紀の日常生活が窺われるとともに、人間の頭、動物/魚/鳥の体、植物の尾を組み合わせた想像上のハイブリッド怪物が多数描かれています。